

## 第3学年 道徳科学習指導案

令和5年10月4日（水）第5校時

- 1 主題名 充実した生き方を求めて 内容項目【 A 向上心、個性の伸長 】
- 2 ねらい 登場人物の考えの在り方から、自分らしさについて多面的・多角的に考えることを通して、性差についての社会通念を超えた自分らしい生き方を追求する態度を育てる。

教材名 「男らしさ女らしさ、自分らしさ」

（出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

### 3 主題設定の理由

#### （1）ねらいや指導内容について

多様な考えが認められるようになってきた現代の中で、自分自身を見つめ、充実した生き方をするには「自分らしい生き方」を模索することが大切であると考えられる。現代は前述の通り、多様な考えが少なからず認められるようにはなってきたが、未だに「個」を出すこと、性についての多様な考えが、良くないことであるといった風潮も存在している。その中で、これからの時代を生きる生徒たちが「自分らしさ」を出すことを恐れず、また、それを悪いことではないと知り、「自分らしい生き方」を模索し、自分自身で納得した選択をして、充実した生き方を追求する態度を育てたい。

#### （2）これまでの学習状況及び生徒の実態について

（略）

#### （3）教材の特質や活用方法について

本教材は主人公の「寛幸」が悩んだ末に野球部に所属することを選ぶところから始まる。「寛幸」は料理が好きであることから、本当に入りたいと考えていたのは家庭科部であったが、「女みたい」という周りの考えや親からの期待を受けて野球部に所属することにしたのである。その中で「星香」という同級生がサッカー部に所属し、「女らしくない」といわれていたことに悩んでいたが、「女らしくよりも、自分らしくを優先させるようにした」という考えに至ったことを聞き、自分らしさについて考えるようになった。これらのことから本教材は、「男らしく、女らしく」といった社会通念上の性差の観念にとらわれることも、それを否定することもなく「自分らしさ」を考え、それを追求することの良さに気がつくことが出来ると考える。

本教材の学習では、周りの目によって「自分らしさ」を出すことを恐れる主人公の気持ちに共感する生徒も多くいると考えられる。その中で「自分らしさ」を大切にしたことによって、自分自身が納得し、充実した生き方をしている星香の姿から「自分らしさ」を大切に生きていくことの必要性を考えさせていく。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点☆評価の視点	時間
導入	1 事前に行った、今の自分はどの程度「ありのまま」を出せているのか、%で示したものを見る。なぜその%なのか理由を明確にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100%出せているという生徒は少なく、他者の考えから自分自身を否定されることを恐れて出せていないと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ありのまま」の自分を必ずしも全員が100%出せていないことを確認する。</li> <li>・原因を知ることによって今回の主人公の気持ちに興味を持たせることへ繋げる。</li> <li>・タブレット端末の使用 50%を超えている人はピンク、超えていない人は青の付箋に記入されている。</li> </ul>	3分
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     充実した生き方をするために必要なことはなんだろう。                 </div>				
展開	2 条件・状況の確認をしたあと、教師の読み聞かせを聞く。  3 教材について話し合う。  (1)寛幸が「嫌だ」と感じる原因は何か考える。 『ああ、嫌だ……』という言葉があるが、寛幸は何が嫌なのだろう。」  (2)寛幸が自分らしさを出せない要因を考える。 「何故、本当の自分を出せないのだろう。」 <補助発問> 「寛幸のいう、『本当の自分とはなんだろう。』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星香をからかう言葉に何も言えなかったこと。</li> <li>・親から期待を受けて部活を選択したこと。</li> <li>・「女みたい」という言葉を言われることが嫌だから。</li> <li>・自分を否定するような言葉がけをされたくないから。</li> <li>・料理が好き。編み物が好き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寛幸自身の行動原理や他人の行動に対しての考えを捉えさせる。また、寛幸と恵の対応の違いについても触れさせる。</li> <li>・「自分らしさ」を出せない原因には他者の目があり、そのためにモヤモヤとした気持ちを抱えていることに着目させる。</li> </ul>	12分           (1)5分           (2)5分

	<p>(3) 【中心発問】</p> <p>星香の言葉から寛幸の考えが変化した要因を考える。</p> <p>『自分を覆っているものが、ほんの少し軽くなった』のは、何に気がついたからだろう。」</p> <p>《考えを深める問い》</p> <p>「自分らしさ」を見つけ大切にしていくなことが必要なのはなぜだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星香のように自分らしさを優先することの良さに気がついたから。</li> <li>・自分を受け入れることができる。</li> <li>・自分自身で納得した生き方が出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分らしさ」を出す良さについて気がつかせる。</li> <li>☆自分らしさを優先することについての考えを、様々な視点から捉えている。</li> <li>・自分自身の考えをまとめた後、タブレット端末を活用して全体に共有をする。</li> </ul>	<p>(3)8分</p> <p>10分</p>
終末	<p>4 導入での自分を踏まえて、授業で学んだことや考えの変化について授業の振り返りをする。</p>		<p>☆学んだことや考えたことを通して「自分らしい生き方」について自分との関わりで考えている。</p>	7分
	<p>○ワークシートの記入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入での自分の考え</li> <li>・今回の学習を通して学んだこと・考えたこと</li> <li>・今後の自分について</li> </ul>		<p>これら3つの視点を元にして振り返りを行う。</p>	

## 5 他の教育活動との関連

特別活動	<p>人権教育として、人権集会や人権作文を通して現代に起きている問題について学習する。</p>
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「作られた「物語」を超えて」「故郷」</li> </ul> <p>思い込みによって起きた戦争や対立を知ること、また時代の影響とともに、立場の違いから自分自身の行動を変えた登場人物の心情を読み取ることを通して、他者の考えによる影響の大きさと「自分らしさ」を出せない息苦しさについて考える心を育む。</p>

事前指導	アンケートを通して生徒の実態を把握し、LGBTQの問題や「自分らしさ」について考えさせるようにする。
道徳科	「三十点の金メダル」 自己を肯定的に捉えると共に自己の優れている面などの発見に努めることの大切さに気がつき、それらを生かそうとする態度を育てる。
事後指導	LGBTQだけでなく本教材に関わる題材を扱った本、新聞等を紹介・掲示する。 図書室でのコーナーの設置。
家庭との連携	振り返り等を道徳だよりや学級通信等に載せ、家庭でも話題として出してもらい、自分らしく生きるために今後の進路等について生かしてもらう。

## 6 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・「自分らしさ」を出した生き方について、様々な視点から捉えている。

### 【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・充実した生き方を追求するために「自分らしさ」について、自分との関わりで考えている。

## 7 板書計画

